



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 イーグル工業株式会社  
 コード番号 6486 URL <http://www.ekkeagle.com/jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴 鉄二  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務本部長 (氏名) 池田 澄男 TEL 03-3438-2291  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	68,051	△5.6	4,950	△40.5	4,370	△56.0	2,182	△64.6
28年3月期第2四半期	72,099	7.9	8,322	28.0	9,923	33.1	6,165	38.3

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △5,282百万円 (-%) 28年3月期第2四半期 4,548百万円 (△30.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	44.78	—
28年3月期第2四半期	127.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	144,463	65,200	41.1	1,217.32
28年3月期	154,807	72,402	42.3	1,343.99

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 59,388百万円 28年3月期 65,439百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
29年3月期	—	20.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,100	△5.8	10,400	△25.6	10,200	△31.4	5,700	△38.0	116.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	49,757,821株	28年3月期	49,757,821株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	971,113株	28年3月期	1,067,225株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	48,734,015株	28年3月期2Q	48,326,601株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は（添付資料）P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済情勢は、米国経済は堅調な個人消費を背景に引き続き緩やかな成長を維持しましたが、欧州では英国のEU離脱決定による域内経済への懸念増大、中国の成長鈍化と設備投資の低迷、資源国では原油価格低迷による財政の圧迫、実体経済の悪化など不透明感が増す状況となりました。

一方、日本経済は、積極的な緩和政策は維持されていますが、円高による企業業績への影響、景気回復のもたつきによる消費マインドの低下等で成長のペースが減速し、景況感はまだら模様の状況となっています。

このような経済環境のもと当事業においては、自動車・建設機械業界向け事業は比較的堅調に推移しましたが、一般産業機械業界向け事業、船用業界向け事業は市況の悪化により需要が低迷しました。また、各セグメントにおいて、急速に進んだ円高により売上、利益とも影響を受けました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は680億51百万円（前年同期比5.6%減）、営業利益は49億50百万円（前年同期比40.5%減）、経常利益は43億70百万円（前年同期比56.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億82百万円（前年同期比64.6%減）となりました。

セグメント別の事業状況は次のとおりであります。

## [自動車・建設機械業界向け事業]

当事業は、為替換算の押し下げ影響を受けましたが、自動車向け製品の販売が国内・北米で堅調に推移すると共に欧州新会社の販売も寄与したことにより、当セグメントの売上高は435億11百万円（前年同期比1.1%増）となりました。営業利益は34億74百万円（前年同期比20.5%減）となりました。

## [一般産業機械業界向け事業]

当事業は、国内及びアジアパシフィックでの需要が減少したことに加え、為替換算の押し下げ影響も大きく、当セグメントの売上高は151億11百万円（前年同期比11.1%減）、営業利益は12億60百万円（前年同期比35.1%減）となりました。

## [船用業界向け事業]

当事業は、景況の悪化に伴い新造船の需要が減少し、修繕の部品需要も大幅減となったことから、当セグメントの売上高は51億88百万円（前年同期比33.0%減）、営業利益は65百万円（前年同期比96.7%減）となりました。

## [航空宇宙・光工学業界向け事業]

当事業は、航空宇宙関連製品の販売が減少したことにより、当セグメントの売上高は42億39百万円（前年同期比2.2%減）となりました。営業利益は1億56百万円（前年同期比948.1%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## [資産]

当第2四半期連結会計期間末の資産は1,444億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ103億44百万円減少いたしました。これは主として電子記録債権が7億89百万円増加した一方、投資有価証券が33億55百万円、現金及び預金が26億82百万円、受取手形及び売掛金が21億99百万円、有形固定資産が13億75百万円減少したことによるものであります。

## [負債]

当第2四半期連結会計期間末の負債は792億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億41百万円減少いたしました。これは主として長期借入金が6億51百万円、電子記録債務が5億89百万円増加した一方、買掛金が21億9百万円、その他の流動負債が16億6百万円、短期借入金が5億22百万円減少したことによるものであります。

## [純資産]

当第2四半期連結会計期間末の純資産は652億円となり、前連結会計年度末に比べ72億2百万円減少いたしました。これは主として利益剰余金が11億4百万円増加した一方、為替換算調整勘定が75億91百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、連結売上高1,351億円、営業利益104億円、経常利益102億円、親会社株主に帰属する当期純利益57億円に修正しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,692	18,009
受取手形及び売掛金	30,071	27,872
電子記録債権	1,731	2,521
商品及び製品	5,147	4,920
仕掛品	7,726	7,418
原材料及び貯蔵品	4,890	4,924
その他	7,276	6,374
貸倒引当金	△104	△104
流動資産合計	77,431	71,936
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,823	18,682
機械装置及び運搬具（純額）	18,779	18,234
その他（純額）	10,189	10,500
有形固定資産合計	48,792	47,416
無形固定資産		
のれん	4,173	3,858
その他	2,755	3,158
無形固定資産合計	6,929	7,017
投資その他の資産		
投資有価証券	16,009	12,653
その他	5,900	5,679
貸倒引当金	△255	△240
投資その他の資産合計	21,654	18,092
固定資産合計	77,376	72,526
資産合計	154,807	144,463

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,940	5,831
電子記録債務	7,603	8,192
短期借入金	13,570	13,047
未払法人税等	2,112	1,770
賞与引当金	2,279	2,859
その他の引当金	189	130
その他	11,884	10,278
流動負債合計	45,581	42,111
固定負債		
長期借入金	20,747	21,399
引当金	332	324
退職給付に係る負債	14,716	14,415
その他	1,026	1,011
固定負債合計	36,823	37,151
負債合計	82,404	79,263
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,490	10,490
資本剰余金	11,474	11,394
利益剰余金	48,951	50,055
自己株式	△998	△810
株主資本合計	69,918	71,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	377	338
為替換算調整勘定	△479	△8,070
退職給付に係る調整累計額	△4,377	△4,010
その他の包括利益累計額合計	△4,478	△11,741
非支配株主持分	6,963	5,811
純資産合計	72,402	65,200
負債純資産合計	154,807	144,463

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	72,099	68,051
売上原価	51,880	51,402
売上総利益	20,219	16,648
販売費及び一般管理費	11,896	11,698
営業利益	8,322	4,950
営業外収益		
受取利息	175	162
受取配当金	19	17
持分法による投資利益	679	272
為替差益	468	—
その他	697	365
営業外収益合計	2,041	818
営業外費用		
支払利息	248	233
寄付金	100	5
為替差損	—	1,064
その他	91	94
営業外費用合計	440	1,398
経常利益	9,923	4,370
特別利益		
固定資産売却益	2	10
特別利益合計	2	10
特別損失		
固定資産売却損	6	2
固定資産除却損	32	28
特別損失合計	39	31
税金等調整前四半期純利益	9,886	4,348
法人税等	3,287	1,856
四半期純利益	6,598	2,492
非支配株主に帰属する四半期純利益	432	310
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,165	2,182

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	6,598	2,492
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19	△38
為替換算調整勘定	△2,310	△5,740
退職給付に係る調整額	216	312
持分法適用会社に対する持分相当額	62	△2,308
その他の包括利益合計	△2,049	△7,775
四半期包括利益	4,548	△5,282
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,535	△5,081
非支配株主に係る四半期包括利益	13	△201

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	船用業界 向け事業	航空宇 宙・光工 学業界向 け事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	43,018	17,003	7,745	4,333	72,099	—	72,099
セグメント間の内部売上高 又は振替高	78	80	9	0	167	△167	—
計	43,096	17,083	7,754	4,333	72,267	△167	72,099
セグメント利益	4,372	1,943	1,971	14	8,301	20	8,322

(注) 1. セグメント利益の調整額20百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	船用業界 向け事業	航空宇 宙・光工 学業界向 け事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	43,511	15,111	5,188	4,239	68,051	—	68,051
セグメント間の内部売上高 又は振替高	72	46	10	—	129	△129	—
計	43,584	15,158	5,199	4,239	68,180	△129	68,051
セグメント利益	3,474	1,260	65	156	4,957	△7	4,950

(注) 1. セグメント利益の調整額△7百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。